



これだけで会計が理解でき、財務分析できるようになる

財務3表の「つながり」がわかる 財務諸表マスター講座

会計を効率的に学びたいと思っている皆さんに、画期的なeラーニング教材が完成しました。

國貞克則講師の「財務3表一体理解法」をベースにしたeラーニング講座が開講しました。

初心者や会計に苦手意識をお持ちの方でも、財務3表の「つながり」を理解することで、会計の全体像と基本的な仕組みが理解できます。また図解分析という方法で企業の状態を直感的に分析できる力が身につきます。

セミナーと同じ内容が、時間や場所を選ばず、何度でも繰り返し学べることが本講座のメリットです。

また、自分のレベルに合わせて学習のスピードと方法が選べるので、セミナーで学んだ内容の定着にも役立ちます。

階層・部門を問わず、会計をしっかりと理解し、仕事に生かしたいと考えている皆さんにおすすめです。

講座の内容

- ライブラリー資料（ダウンロードできるデータ）：
演習ドリルの進め方、図解分析作業手作業シートなど。
- 課題：テスト＝各Lectureに、自動採点式の確認テストがあります。

講座概要

- 受講料金：19,440円（税込み 税抜き価格 18,000円）
- 受講期間：8週間（毎月開講）※受講期間および申込締切については、ウェブサイトでご確認ください。
- 標準学習時間：5時間
- 動作環境：動作環境

OS × ブラウザー Microsoft® Windows® 7 × Microsoft® Internet Explorer 11
Microsoft® Windows® 10 × Microsoft® Internet Explorer 11
Adobe® Flash Player（本講座には、映像・音声付きのコンテンツが含まれています。
再生にはAdobe® Flash Playerが必要です。）

講師



國貞 克則 氏

ボナ・ヴィータ
コーポレーション
代表取締役

1983年東北大学工学部機械工学科卒業、神戸製鋼所入社。海外プラント輸出、人事、企画、海外事業企画に従事。96年米国クレアモント大学ピーター・ド・ラッカー経営大学院でMBA取得。2001年ボナ・ヴィータコーポレーションを設立して独立。「社長の右腕業」として、中小企業の経営企画・人事組織・会計財務面をサポートしている。経営幹部・管理職を対象としたリーダー育成研修、わかりやすく会計の仕組みが理解できる会計研修などが得意分野。

著書に『書いてマスター！財務3表・実践ドリル』（日本経済新聞出版社）、『財務3表一体理解法』『財務3表一体分析法』『財務3表実践活用法』（以上、朝日新聞出版）『「財務3表」を一体にした勉強法で英文会計も理解できる！The Trilateral Approach』（ゴマブックス）、『究極のドラッカー』（角川新書）等、訳書に『財務マネジメントの基本と原則』（東洋経済新報社）がある。

プログラム

- 【プロローグ】 会計を知れば出来ること
- 【Part1】 財務3表の基本説明（PL/BS/CS）
- 【Part2】 財務3表一体理解ドリル
- 【Part3】 図解分析法で企業の財務体質を把握し、財務分析を行う
- 【エピローグ】 全体のまとめとこれからのアドバイス

※本講座には、映像・音声付きのコンテンツが含まれています。再生にはAdobe® Flash Playerが必要です。



こんな方にお勧めします！

●階層・部門を問わず、会計をしっかりと理解し、仕事に生かしたいと考えている方々
→ 会計素人の方でも、財務諸表から企業の状態が分析できるようになります

●会計を効率的に学びたいと思っている方々
→ 簿記の細かいルールを知らなくても、複式簿記の全体像と基本的な仕組みが理解できるようになります

講座のポイント

●財務3表一体理解ドリル

細かい簿記仕分けのルールは気にせず日々の事業活動によって生じる伝票が決算書上のどこに書かれるのかを20問程度のドリル形式で学びます。演習ごとに解説を確認しながら自分のペースで学習を進めます。

この演習を通して財務3表（損益計算書（P/L）、貸借対照表（B/S）、キャッシュフロー計算書（C/S））の「つながり」がわかります。

【Part2】財務3表一体理解ドリル【演習ドリル】

解説7【解説】
短期借入金100万円の借入実行

解説8【ステップ6】
PLの税引前当期純利益「6」を間接法CSの一番上に記入します。営業CFに動向はあきらめず、「5」をそのまままで記入します。

間接法

営業CF	税引前当期純利益	5
	減価償却費(+)	
	支払利息(+)	
	売上債権の増加(-)	
	棚卸資産の増加(-)	
	仕入債権の増加(+)	
	その他負債の増加(+)	
	小計	5
	利息の支払額(-)	
	法人税等の支払(-)	
営業CF計		5
投資CF	固定資産取得(-)	
CF	投資CF計	
財務	短期借入金(+)	100
CF	短期借入金返済(-)	
	長期借入金(+)	100
	長期借入金返済(-)	
	株式発行収入(+)	50
	株式発行収入(-)	
財務CF計		150
	現金の増減額	306

直接法

営業CF	営業収入(+)	30	30
	商品の仕入支出(-)	-10	-10
	人件費支出(-)		
	その他の営業支出(-)	-5	-5
	小計	5	5
投資CF	固定資産取得(-)	-50	-50
CF	投資CF計	-50	-50
財務	短期借入金(+)	100	100
CF	短期借入金返済(-)		
	長期借入金(+)	100	100
	長期借入金返済(-)		
	株式発行収入(+)	50	50
	株式発行収入(-)		
財務CF計		150	150
	現金の増減額	306	306

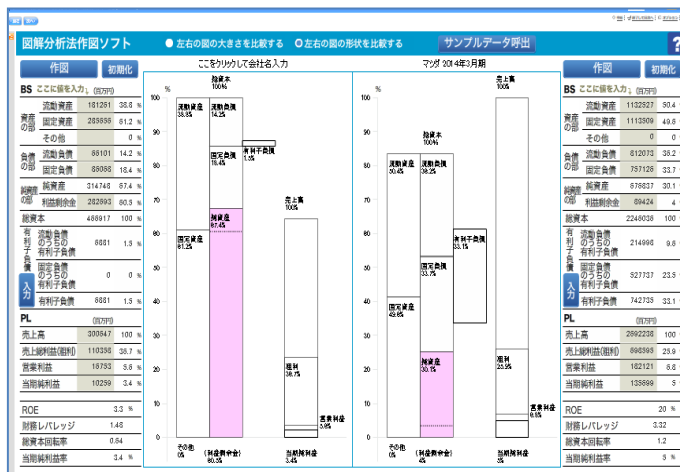
貸借対照表 (BS)

資産の部		負債の部	
流動資産	流動負債	短期借入金	100
現金	買掛金	未払法人税等	
売掛金	短期借入金	預り金	
商品			
固定資産	固定負債	長期借入金	100
機械装置	長期借入金	資本	50
		資本	50
		利益剰余金	5
		繰越利益剰余金	5
		支払利息	
		法人税等	
		前期繰越利益	
資産合計	負債・純資産合計	356	356

1 損益計算書 (PL)

売上高	30	30
売上原価		
期首商品増加高		
当期末商品増加高	10	10
期末商品増加高		
引当		
売上総利益(粗利)	10	10
販費		
給料手当		
旅費交通費	5	5
事務用品費		
減価償却費		
営業利益	5	5
支払利息		
法人税等		
前期繰越利益		
当期純利益	5	5

●財務状況を一瞬で把握する図解分析ソフト



決算書の中から財務分析に必要な数字だけを取り出し、図にすることで、財務状況を視覚的に理解します。

作図ソフトでは、数値を入力してボタンを押すだけで瞬時にグラフが描画されます。競合他社、自社の過去の財務状況との比較も、ソフトを使えば一瞬で可視化できます。